

利用者懇談会第二期研究会募集について

SPring-8利用者懇談会
利用促進委員会

総会で伝えられた第二期研究会活動方針は、11月22日に開かれた第3回評議員会で、つぎのように了承されました。

「SPring-8利用者懇談会は、各研究分野として、どのようにSPring-8を活用すべきかを研究討論する場であり、学会でなされるような個々の研究者の成果を情報交換するのみに留まることなく、SPring-8を利用する研究の更なる進歩、改革につながるような研究活動を奨励する。すなわち、研究会・研究分野の動向から、今後10年後の展望をまじえてSPring-8においてどのようなサイエンスを展開したいか、その実現には何が必要か（BL建設、装置アップグレード、運転モードの要望など）を議論し、精選した具体的目標を掲げ、施設側に積極的にはたらきかけることができるような活動を期待する。

第二期研究会活動のひとつとして、各研究会が関わる研究でSPring-8の利用をとおして挙げた供用開始後10年間の科学的研究成果を整理して公表することに協力願いたい。」

分野名称は継続しますが、新規提案も歓迎します。第二期末期に分野の見直しを検討する予定です。今後の申請に関するスケジュールは、下記の通りを予定しておりますが、後日変更が有り得ますので、随時確認をお願いします。

平成20年 1月12日	拡大利用促進委員会にて申請内容の説明、募集開始
2月15日	申請締め切り
3月初旬	第二期研究会の利用促進委員会案を評議員会にて承認
4月	第二期研究会発足

なお、第一期研究会活動報告は利用促進委員会が総括し、利用者情報およびWebページに掲載して公開されることとなりました。各研究会からの原稿の締め切りは平成20年7月31日です。